講義名	中国文化研究				授業形態		その他				
							必要に	びじて授業時に資料を配布する。			
担当教員	市成 直子	開講期・曜日・	時限 後期 水曜日 1時	限							
担当教員	100% 直丁			1+>/パリ>	/ガ・コ						
		単位数 2	履修開始年次 1年生	ナンバリン ード	¿/ -						
題と概要											
中国小説史 一中	国小説の世界-						授業計	<b>E</b>			
中国小説の歴史(古代-近代まで)をたどりながら、その変遷と発展過程の特徴を学び、多種多様な作品が存在することを理解する。 合わせて作品中に見える中国の風俗文化に触れる。							第1回 第2回	授業について 中国における「小社 「神話」における時間性 「思想書」の物語 第7回 「水根志怪小説」と「志」 第7回 「解れて命小説」 第13回 「解れての小説」 「清れの小説」 「高れの小説」	说」という言葉について		
EVE CIEWAIC	見える中国の風俗文化に敷れる。						第3回第4回	「思想書」の物語 「歴史書」の物語			
							第5回 第8回	- 第7回 「六朝志怪小説」と「志ノ - 第11回 「唐代伝奇小説」	<b>人小説</b> 」		
							第12	回~第13回 「明代の小説」 回 「清代の小説」			
							第15	国 「魯迅へ」			
達目標											
『三国志』や『西 それが現代生活に	遊記。だけではなく、【中国小説】と呼ばれるものには様々な も息づいている状況を理解できるようになる。	内容、ジャンルの作品が	があり、								
出課題	※本本のはサンスは山地で とっこと										
毎回授業時に、授 各自小レポートを	業内容に基づく提出課題を提示する。 作成し提出する。 は随時指示する。						102 HA 114	# / フカニ <i>,</i> ゴ ニ ー ヽ が \			
提出方法について	は随時指示する。						<b></b>	態(アクティブ・ラーニング)			
							<b>—</b>	ア:PBL(課題解決型学習)			イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
							<b>—</b>	ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション			エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク
<b>,</b>				-	キ:その他(AL型であるけども、以上	-015E011#401#401		カ: 美省、フィールトワーク			
					<b>—</b>	十.その形(A L室であるけども、以上	の項目のいり10にも該当しない場合)				
						* (井 ) 4	タノマ羽 復羽笠)の日はめれた	変孔がてもに必悪も味明			
							平備子 予習	修(予習・復習等)の具体的な内	谷及びてれた必要な时间		
	や小テスト等)に対するフィードバックの方法						予告す 配布さ	る次回授業で取り上げる作品はどのよう れる授業内容、資料を熟読し、内容を理解	なものなのか、調べて確認しておく。( 解しておく。(1時間程度)	1時間程度)	
学生諸君が提出し	た小レボートの内容に基づき、授業時に適宜既習の講義内容を 各自が理解度を測る。	確認する。					予報 ・ 予告する次回授業で取り上げる作品はどのようなものなのか、調べて確認しておく。(1時間程度) を持ちれる授業内容、資料を熟練し、内容を理解しておく。(1時間程度) 復習 復習 授業内容についての小レポートを作成する。(1時間程度) 課題提出後のフィードパックを通して、提出した小レポートの内容を確認し、訂正加筆する。(1時間程度)				
BOOK THE ST. C	HHN MATERIA CITA VI						授業内課題提	容についての小レポートを作成する。 ( 出後のフィードバックを通して、提出し;	1時間程度) た小レポートの内容を確認し、訂正加筆	iする。(1時間程度)	
							卒業認	定・学位授与の方針と当該授業科	目の関連		
呼価の基準							商学部	生に求められる「各業界の動向や問題点	を理解するための基礎知識」、経済学部	写生に求められる「人間」	社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といっ る。
小レポート:60	% 授業への積極的参加度:40%						- 現美征	<b>嵌の様々なナーマ」に省熟し、いりれに</b>	も関わる中国文化、在宏についく理解す	る質賞・能力を身につけ	٥.
34	a View related										
	の注意・助言他						双方向	受業の実施及びICTの活用に関する	る記述		
	理解できていなければ、授業内容に即した正確なレポートは作		211					容・状況により規定に基づき、授業追加		合がある。	
注意:1 ノダーネ 評価対象	ット等での表面的な検索結果を使用してレポートを作成し、提 外とする。	E田9 ることは彩のられ	4610								
							宝務経	険の有無及び活用			
							- 133 MCE				
(科書											
.使用しない.				1							
		+		+	+ +						
							備考				
考図書											
		1		1	1		1				